

長期・積立・分散投資の効果

① 長期・積立・分散投資の重要性

日本証券業協会 金融・証券インストラクター

本資料は、日本証券業協会(以下、日証協)が作成したものです。本資料は、金融知識習得の一助となる事を目的とし、特定の有価証券等の勧誘を目的として作成されたものではありません。

日証協は、インターネットを通じて提供されている情報を含め、信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確である事を保証するものではなく、日証協は、本資料に記載された情報を使用する事により、投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。

また、当該意見・見通しは、将来予告なしに変更される事があります。



【講義動画のポイント】

- 資産形成は、長期・積立・分散の視点を持って取り組む必要があることを理解すること

【講義動画の学習目標】

- 資産形成を行うにあたり、若年世代から正しい知識・情報をもとに自らの判断で金融商品を選択する必要があることを理解する

- ◆ 投資は3つの余裕で
- ◆ リスクとリターンの関係
- ◆ 投資は長期の視点が重要
- ◆ 積立投資(ドル・コスト平均法)・分散投資
- ◆ 動画のポイント
- ◆ 誤解されやすい事項
- ◆ 生徒への問いかけ(例)
- ◆ 学習を深めたい場合

投資は3つの余裕で

1

資金の余裕

「日々の生活に必要なお金」や「近く使い道が決まっているお金」は投資に向いていない

2

時間の余裕

思いどおりに価格が上昇しなくてもそのまま保有していただける

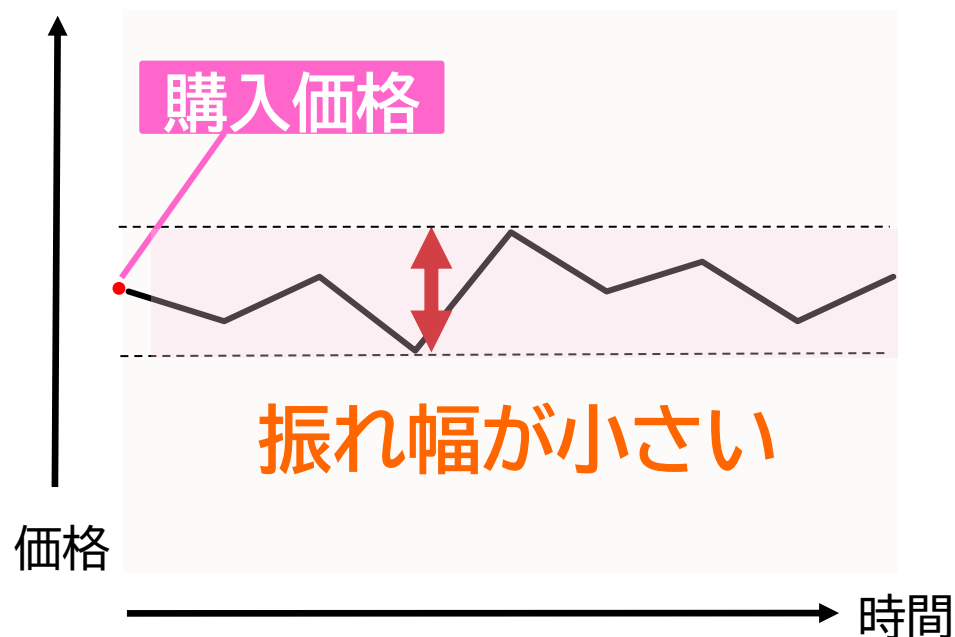
3

心の余裕

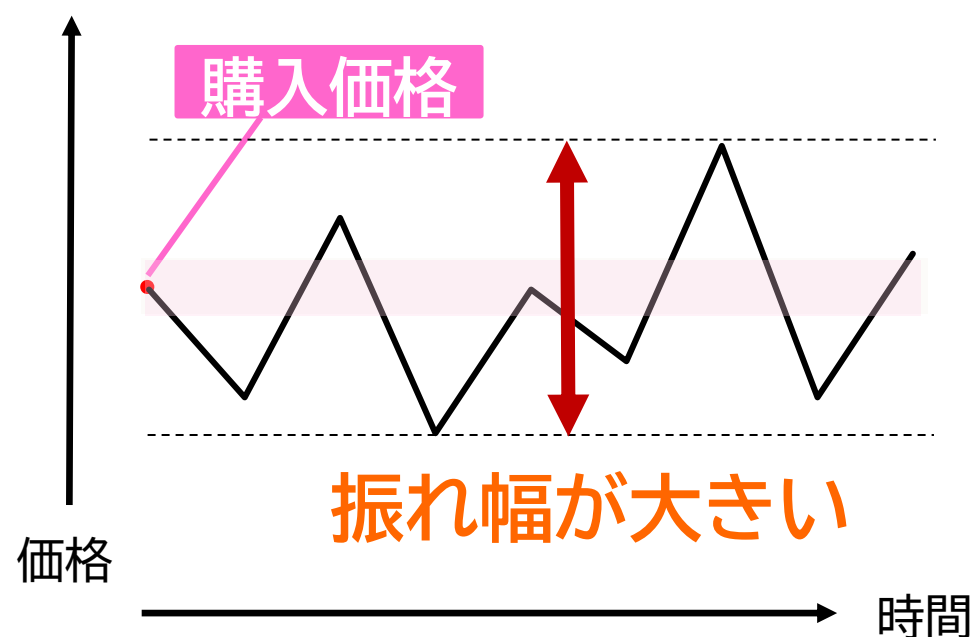
価格の急激な下落があってもあわてず冷静な判断を

金融商品のリスクとは、
リターンが不確実である(振れ幅がある)こと

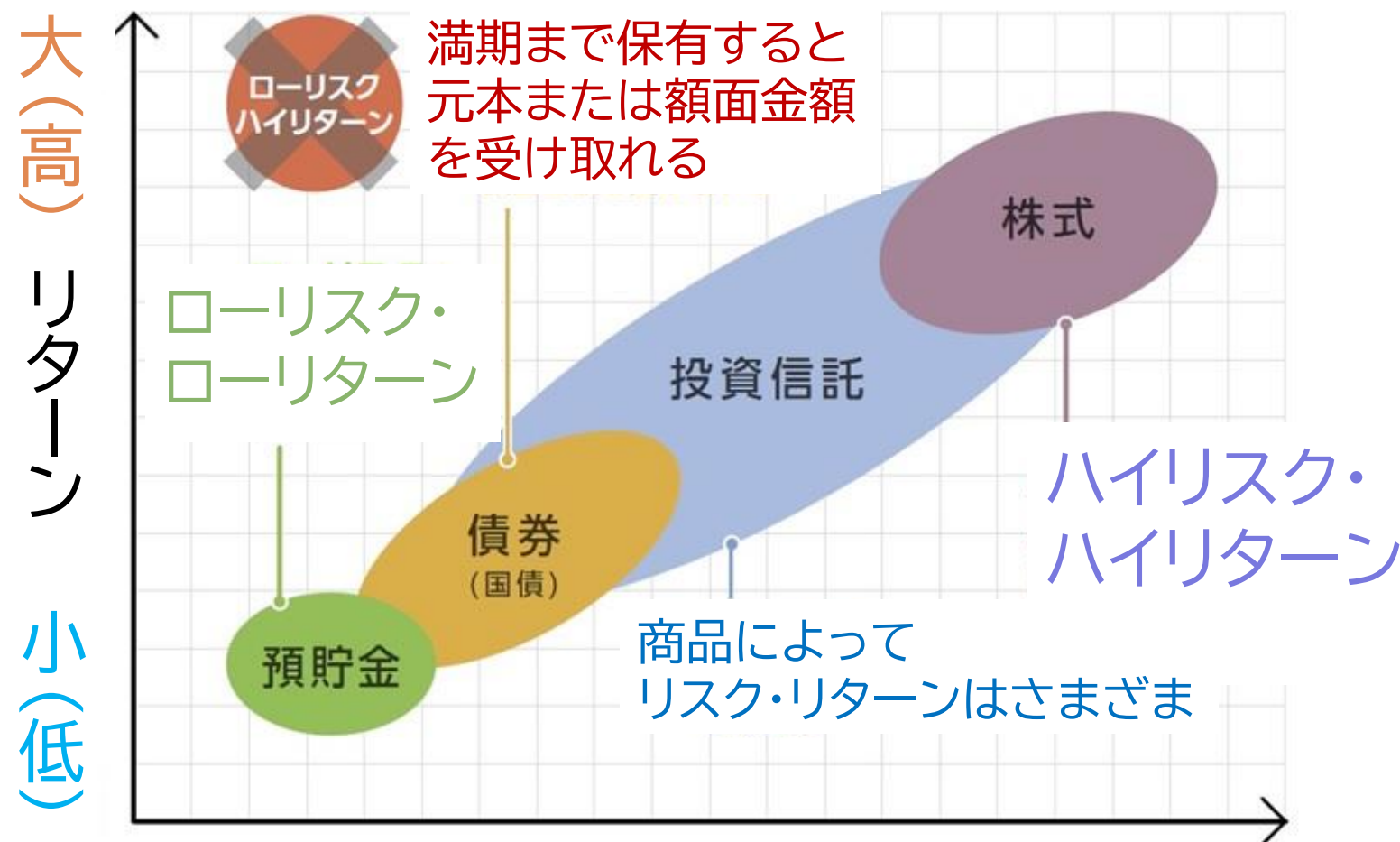
リスクが小さい
預金など



リスクが大きい
株式など



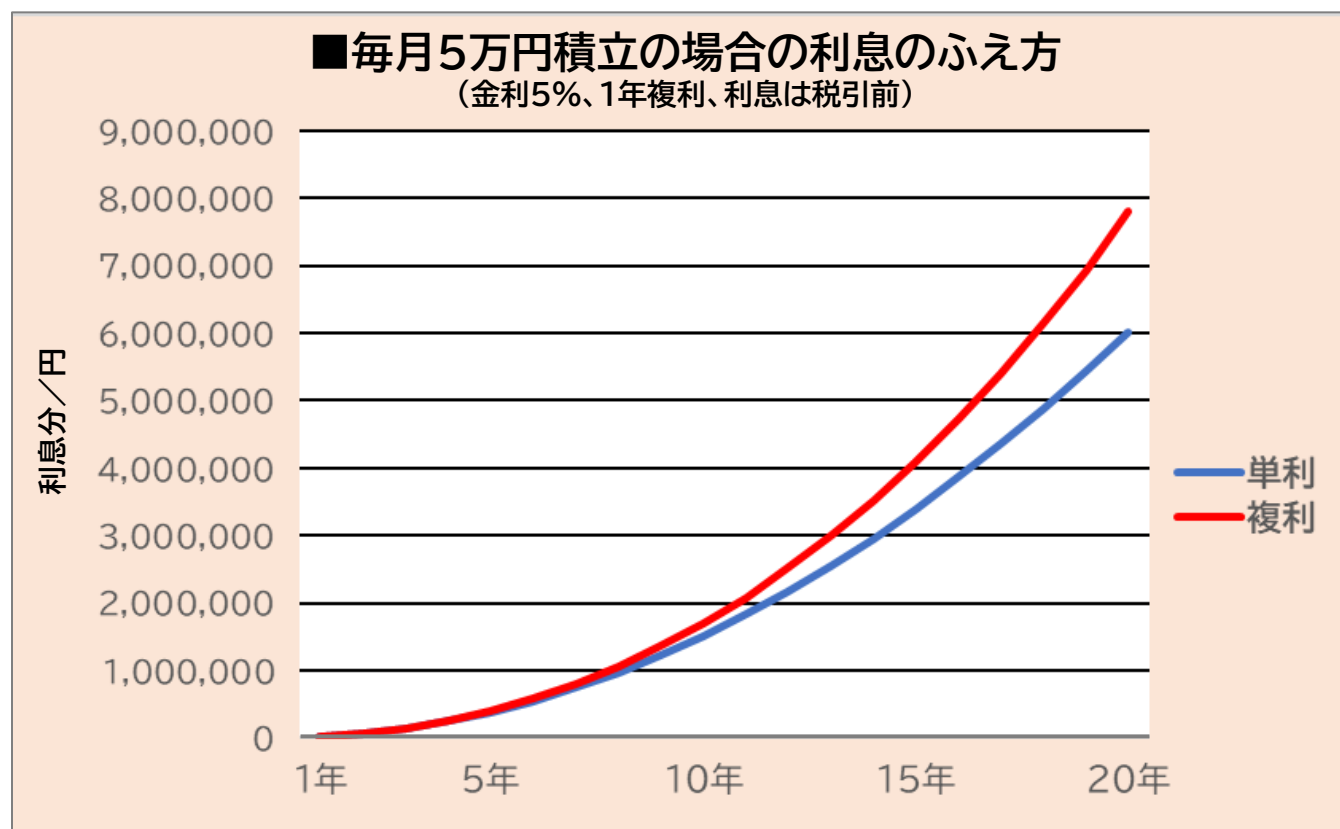
「ローリスク・ハイリターン」の金融商品はない



投資には長期の視点が重要

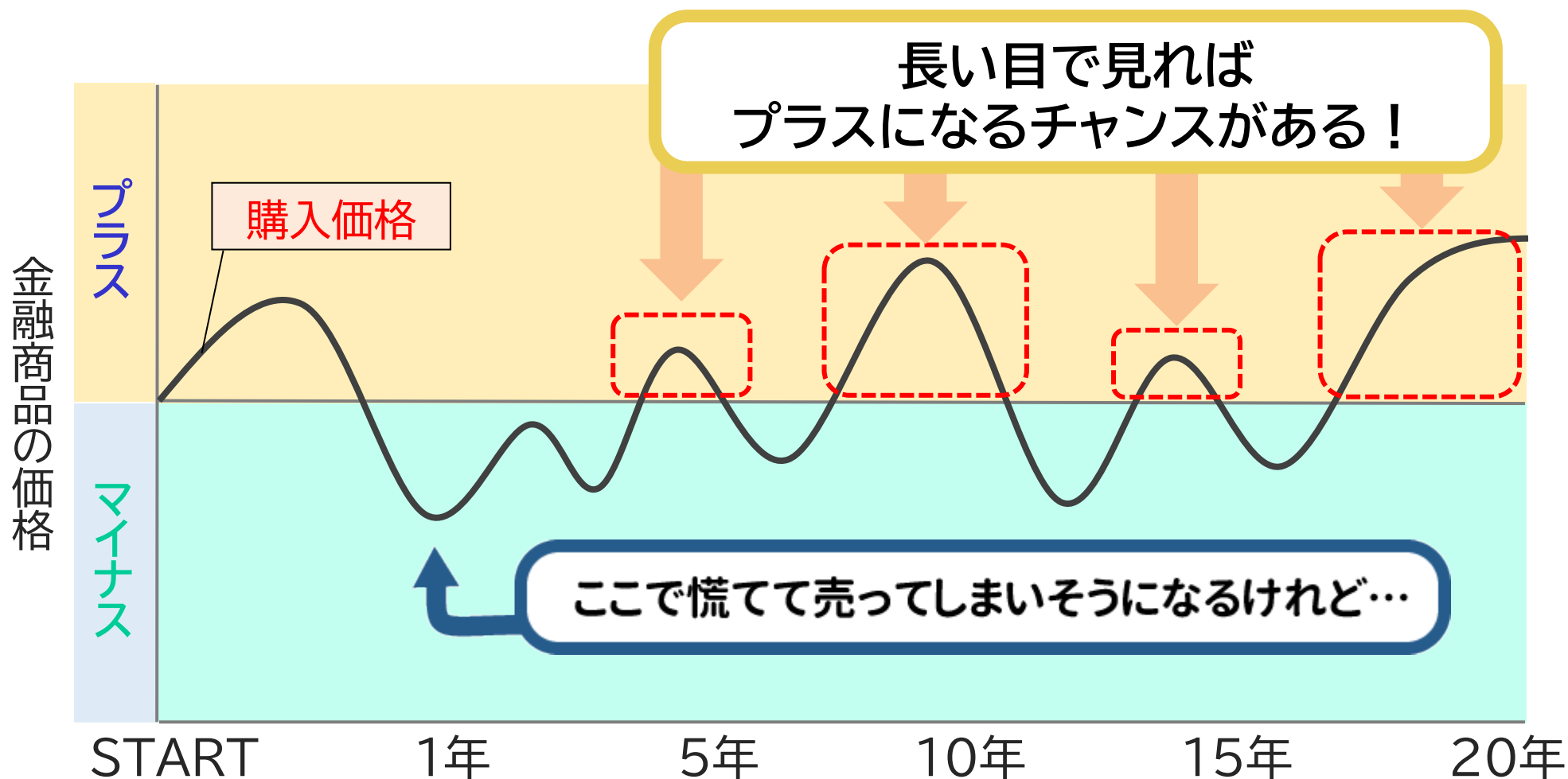
単利と複利

- **単利** ⇒ 預け入れた元本にのみ、利子を計算する方法
- **複利** ⇒ 発生した利子を元本に足し、新しい元本として利子を計算する方法



時間を味方につけましょう

投資には長期の視点が必要

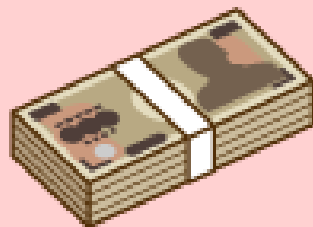


金融商品(株式・債券)の環境は、よい時もあれば悪い時も必ずある
長期投資で時間を味方に！

金融商品の購入方法には2通りあります。

一括購入

手持ち資金全額で
一度に購入



例: 一度に4万円分購入

定額購入 (ドル・コスト平均法)

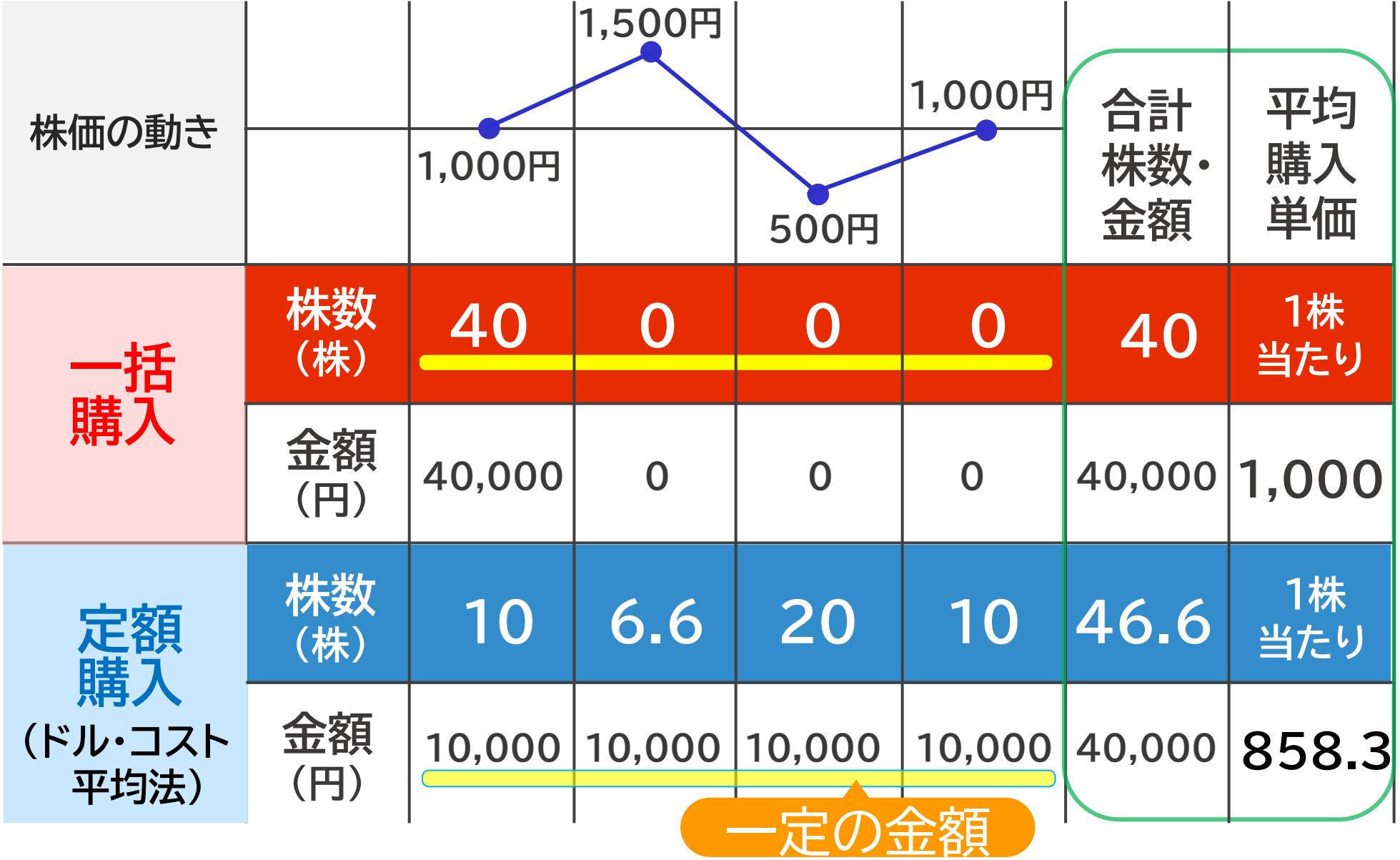
毎回、決められた金額ずつ購入



例: 毎月1万円ずつ購入

どちらが効率的か比較してみましょう

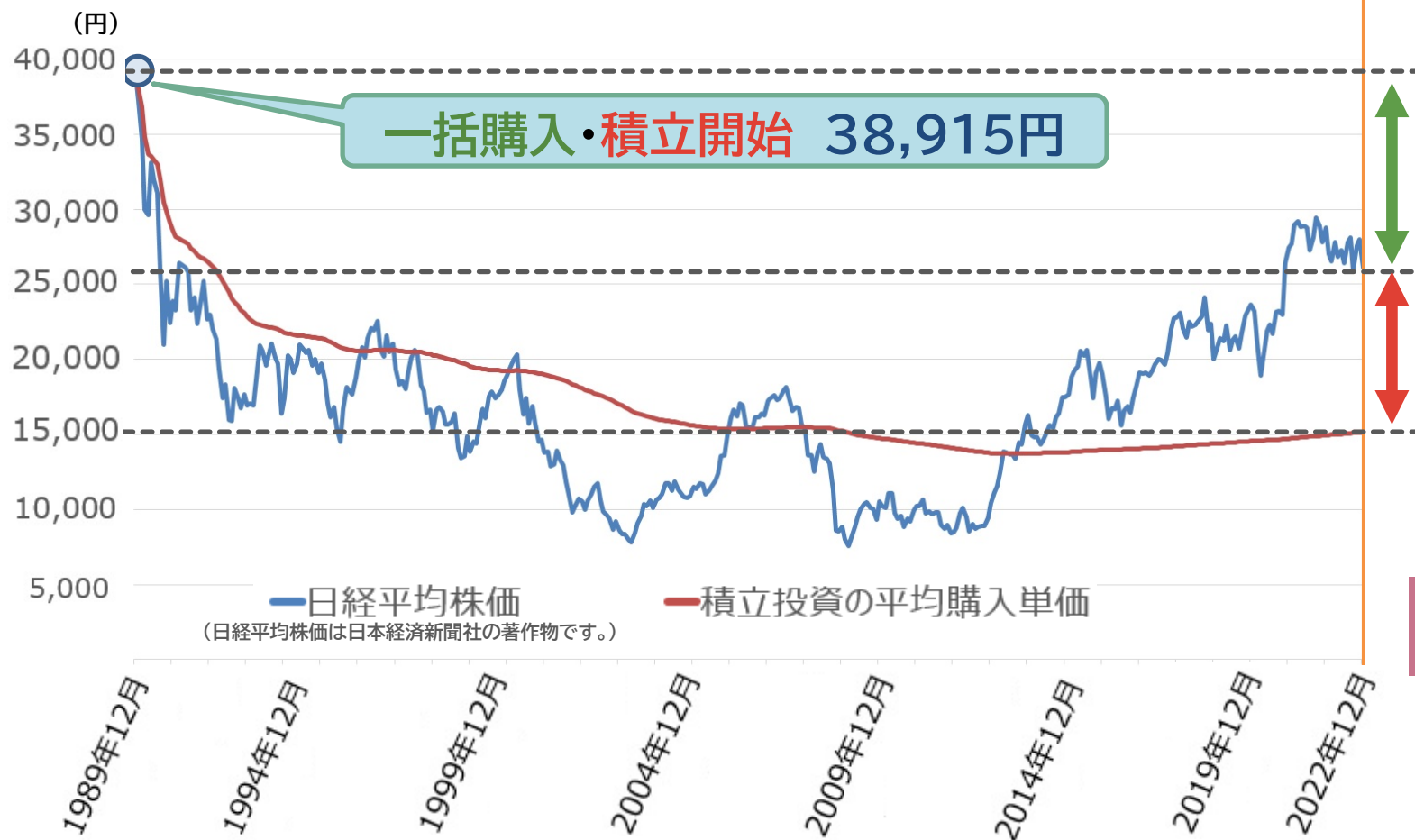
積立投資(ドル・コスト平均法)



【参考】ドル・コスト平均法の効果の例

日本の株式市場で最も高い株価から毎月1万円ずつ 積立投資したと仮定した場合のシミュレーション

※過去のデータによるものであり、将来の市場環境を保証するものではありません。



一括購入
⇒約△33%

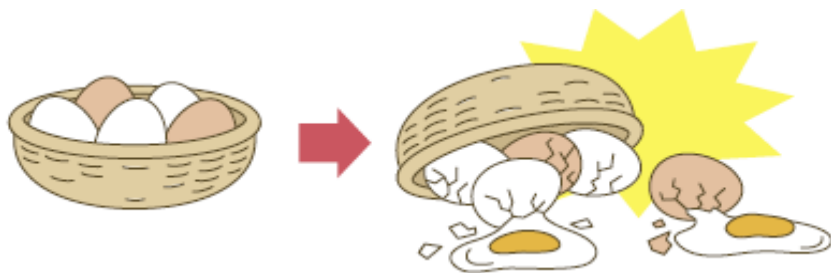
積立購入
⇒約+72%

長期・積立の効果

投資の世界の格言！

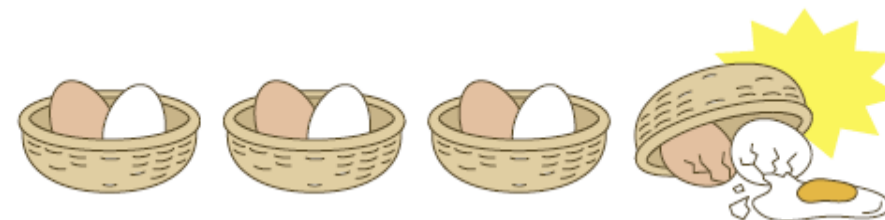
「ひとつのカゴに卵を盛るな」

卵を1つのカゴに全部入れた場合
(投資先が1つ)



カゴを落としたときに
全てがダメに…

複数のカゴに分けた場合
(投資先を分けた場合)



1つを落としてしまっても、
残りは大丈夫！

主な分散方法は3つ

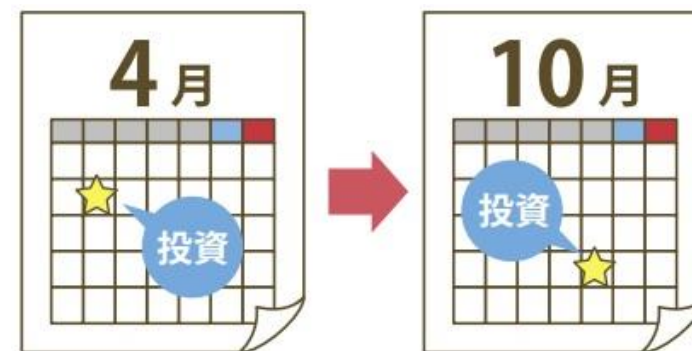
資産の分散



地域の分散



時間の分散



**定額購入法
(ドル・コスト平均法)**

◆長期・積立・分散投資を行うことによる効果、 時間を味方につけることの大切さ

長期投資

金融商品を
長期間
保有すること

×

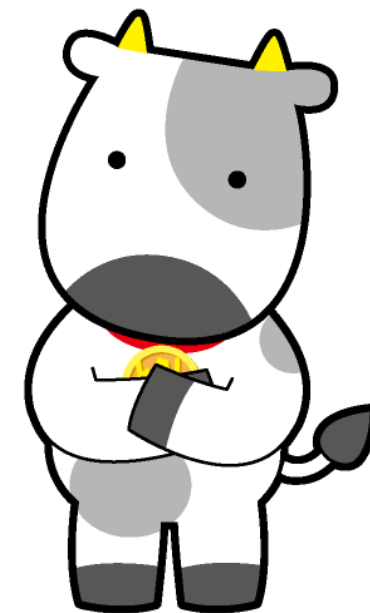
積立投資

金融商品を
定期的に
購入すること

×

分散投資

投資先や
購入時期を
分散させること



◆金融商品(株式・債券)は、必ず価格が上下するため、資産価格に変動があっても一喜一憂せず、長期の視点で余裕をもって投資を行う

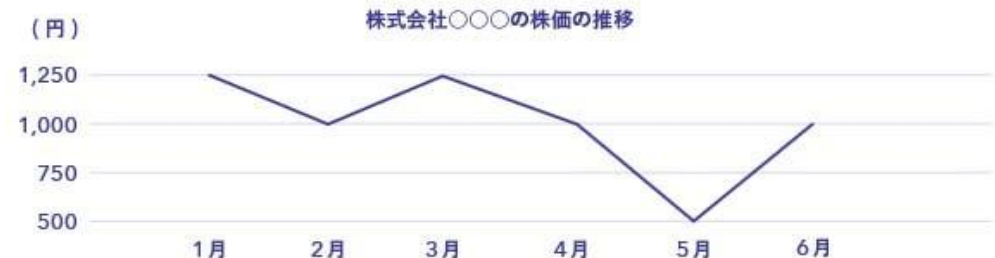


- ◆投資は余裕資金（当面使う予定がないお金）で行うことが基本であり、同時に**リスクコントロール**をする必要があること
- ◆若年世代から**少額**からでも、**資産形成**を**スタート**することが大切

生徒への問いかけ(例)

◆ 資金100万円で、株式を一括購入する場合と、10回に分割して(1回あたり10万円)買い付ける場合のメリット・デメリットを考えてみよう

時間分散(ドル・コスト平均法)の効果



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	1株当たりの価格
株価の動き		1,250円	1,000円	1,250円	1,000円	500円	1,000円		
一括購入	購入金額	60,000円	0円	0円	0円	0円	0円	60,000円	1,250円
	購入株数	48株	0株	0株	0株	0株	0株	48株	
毎月1万円 定期購入	購入金額	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	60,000円	909円
	購入株数	8株	10株	8株	10株	20株	10株	66株	

◆ 複利の効果がどのようなものか実際に計算してみよう

(例) 100万円を年率2%(複利)の利息がつく預金口座に預け入れた場合、5年後の預金額はいくらになるでしょうか。

(単利計算の場合)

100万円を年率1%(単利)の利息がつく預金口座に預け入れると預金額は以下ようになります。

1年後: $100\text{万円} + (100\text{万円} \times 0.01) \times 1 = 101\text{万円}$

2年後: $100\text{万円} + (100\text{万円} \times 0.01) \times 2 = 102\text{万円}$

3年後: $100\text{万円} + (100\text{万円} \times 0.01) \times 3 = 103\text{万円}$

4年後: $100\text{万円} + (100\text{万円} \times 0.01) \times 4 = 104\text{万円}$

5年後: $100\text{万円} + (100\text{万円} \times 0.01) \times 5 = 105\text{万円}$

(複利計算の場合)

100万円を年率2%(複利)の利息がつく預金口座に預け入れると預金額は以下ようになります。

1年後: $100\text{万円} \times 1.02 = 102\text{万円}$

2年後: $102\text{万円} \times 1.02 = 104\text{万}400\text{円}$

3年後: $104\text{万}400\text{円} \times 1.02 = 106\text{万}1,208\text{円}$

4年後: $106\text{万}1,208\text{円} \times 1.02 = 108\text{万}2,432\text{円}$

5年後: ???

A. 5年後: $108\text{万}2,432\text{円} \times 1.02 = \underline{110\text{万}4,080\text{円}}$

学習を深めたい場合

◆ とうしくんとタイムトラベル ～資産形成を体験しよう～

金融商品を選んで資産運用を行う体験プログラム。金融商品のリスクとリターンや資産形成について学ぶことができる。

◆ 金融商品相談診断チャート (投資の時間)

この資産形成シミュレーターの目的

2ステップでかんたんシミュレーション!

STEP1



各金融商品の特性を知る

STEP2



シミュレーションを通して
資産形成を体験する

結果発表! あなたの各資産

2011年～2015年



金融商品選びに迷ったら

金融商品相性診断チャート



“投資”とひとことでいっても、金融商品にはたくさんの種類があり、商品によって特徴もさまざまです。金融商品選びに迷った方は、次のチャートから自分と相性のよさそうな金融商品を診断してみましょう!

START

Q

1/5

将来のことを考えると
ワクワクする!



◆ 資産運用シミュレーション (金融庁)

◀ NISAとは? ▶ つみたてNISAとは? ▶ NISAを始める前に ▶ 動画コーナー ▶ イベント情報 ▶ ちょっと注目! ▶ Q&A

◀ 資産運用シミュレーション

将来いくらになる?
毎月いくら積立てる?
何年間積み立てる?

毎月の積立金額 5万円
想定利回り(年率) 3%
積立期間 10年

計算する

最終積立金額 6,987,071円

▶ NISAを始める前に

投資の基本

タイプ別資産運用スタイル

用語集

ライフプランシミュレーション

資産運用シミュレーション

